

# 【2025年最新】LiPro評価基準（二級建築士通信講座）

LiProでは二級建築士通信講座のランキング作成において、評価基準を作成いたしました。



当サイトは広告収入を元に運営されています。ユーザーの皆様に公正、かつ、正確な情報をお届けするために、広告にあたる商品・サービスには「PR」や「スポンサードリンク」などの記載をすることを遵守しています。「選び方」で紹介している情報は、必ずしも個々の商品の安全性・有効性を示しているわけではありません。商品を選ぶときの参考情報としてご利用ください。

## 調査概要

調査方法	<a href="#">調査した二級建築士通信講座を確認</a>
調査実施期間	2025年1月27日～1月28日

## 1. 評価基準の設定の流れ

評価基準の設定の流れは以下の通りです。

1. 各二級建築士通信講座の公式サイトを確認
2. 評価基準の項目について調査
3. 評価基準をもとに評価をする

### 1-1. 各二級建築士通信講座の公式サイトを確認

調査する二級建築士通信講座の公式サイトにて、サービスの内容等を確認しました。

## 1-2. 評価基準の項目について調査

評価基準(「料金」「カリキュラム」「合格実績」「通信講座の充実度」「サポート内容」)の5項目に関して、二級建築士通信講座の公式サイト情報を調査しました。

## 1-3. 評価基準をもとに評価をする

調査した情報を確認して、評価基準をもとに評価をしました。

## 2. 評価基準

「料金」「カリキュラム」「合格実績」「通信講座の充実度」「サポート内容」の5項目において、1～5までの評価基準を設定いたしました。

項目	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5
料金 ※科目別コースではなく全講座を受講した場合の料金で比較	1,000,001円以上 または公式サイトに記載がない	～1,000,000円以下	～500,000円以下	～250,000円以下	100,000円以下
カリキュラム	二級建築士試験に対する内容が大幅に不足している	二級建築士試験に対する内容がカバーしきれておらず、個人での対策が必要	カリキュラムは充実しているものの、試験対策に不安が残る部分がある	試験内容に対する内容が充実しており、過去問題集などでの対策もとれる	内容が充実しており、過去問題集などを解いて対策ができる メイン講義のほかに副教材を用いてポイントをおさえられる

合格実績	公式サイトに記載がない または公表していない	合格率50%未満	合格率70%未満	学科合格者の平均が80%未満、製図合格者の平均が70%未満 または単年度の学科合格者が80%以上、製図合格者が70%以上	学科合格者の平均が80%以上、製図合格者の平均が70%以上(単年度の合格率は除外)
通信講座の充実度	DVD教材など一方的かつ採点などのフォローもない	学科課題提出などによる講師の進捗確認やフォローがあるが、単位修得できない 製図授業の社会人への配慮不足	学科課題提出などによる講師の進捗確認やフォローがあり、単位修得ができる 製図授業の社会人への配慮不足	社会人にも配慮された製図の学習ができるなど学習内容が充実しているが単位は修得できない	社会人にも配慮された製図の学習ができるなど学習内容が充実していて、単位の修得もできる
サポート内容	サポートは特になく、疑問点は自分で解決しなければならない	サポートが不十分で、疑問点があってもすぐに解消することができない	質疑応答できる環境が整っている	フォロー体制が整っている 理解できない点をすぐに解消できる 試験対策などの相談にも乗ってもらえる	フォロー体制が充実しており、理解できない点をすぐに解消できる 試験対策の相談や試験に不合格だった場合のフォローなど、その他のサポートも手厚い

## 2-1. 料金

二級建築士では学科と設計製図の試験に合格する必要があるため、学科と設計製図の全講座を受講した場合の料金で比較しました。

## 2-2. カリキュラム

二級建築士の試験対策が各通信講座でどの程度カバーできているか、過去問題集などを用いた対策が取れているかを評価の基準としました。

## 2-3. 合格実績

合格実績は各二級建築士通信講座の実力として反映できるので、各通信講座の合格実績を評価の基準としました。

## 2-4. 通信講座の充実度

一人ひとりへの進捗確認などのフォロー体制や、二級建築士試験の受験資格に直結してくる単位の修得、難易度の高い設計製図の授業が社会人にも配慮されているかを評価の基準としました。

## 2-5. サポート内容

講義内容での不明点を質問できるかは、二級建築士の試験対策で欠かせません。そのため、講義内容の質疑応答や、試験対策などの相談・フォローの有無を評価の基準としました。

## 3. 調査した二級建築士通信講座

今回調査したのは下記の二級建築士通信講座です。

二級建築士通信講座	公式サイト
日建工科専門学校グループ	<a href="#">公式サイト</a>
町田デザイン&建築専門学校通信教育	<a href="#">公式サイト</a>
ハウジングインテリアカレッジ	<a href="#">公式サイト</a>
スタディング	<a href="#">公式サイト</a>
資格の学校TAC	<a href="#">公式サイト</a>
全日本建築士会	<a href="#">公式サイト</a>
日建学院	<a href="#">公式サイト</a>
日本教育開発	<a href="#">公式サイト</a>